

価値創造プロセス

ビックカメラグループは、店舗を起点としたお客様のニーズの把握から商品・サービスの提供、さらにはサーキュラーエコノミー型事業モデルの推進を通じて、持続可能な社会への貢献と企業価値の向上を実現します。この価値創造プロセスにおいて、お客様に喜んでいただくこと及び社会課題の解決を両立する仕組みを構築しています。



人的資本
従業員 **11,588人**

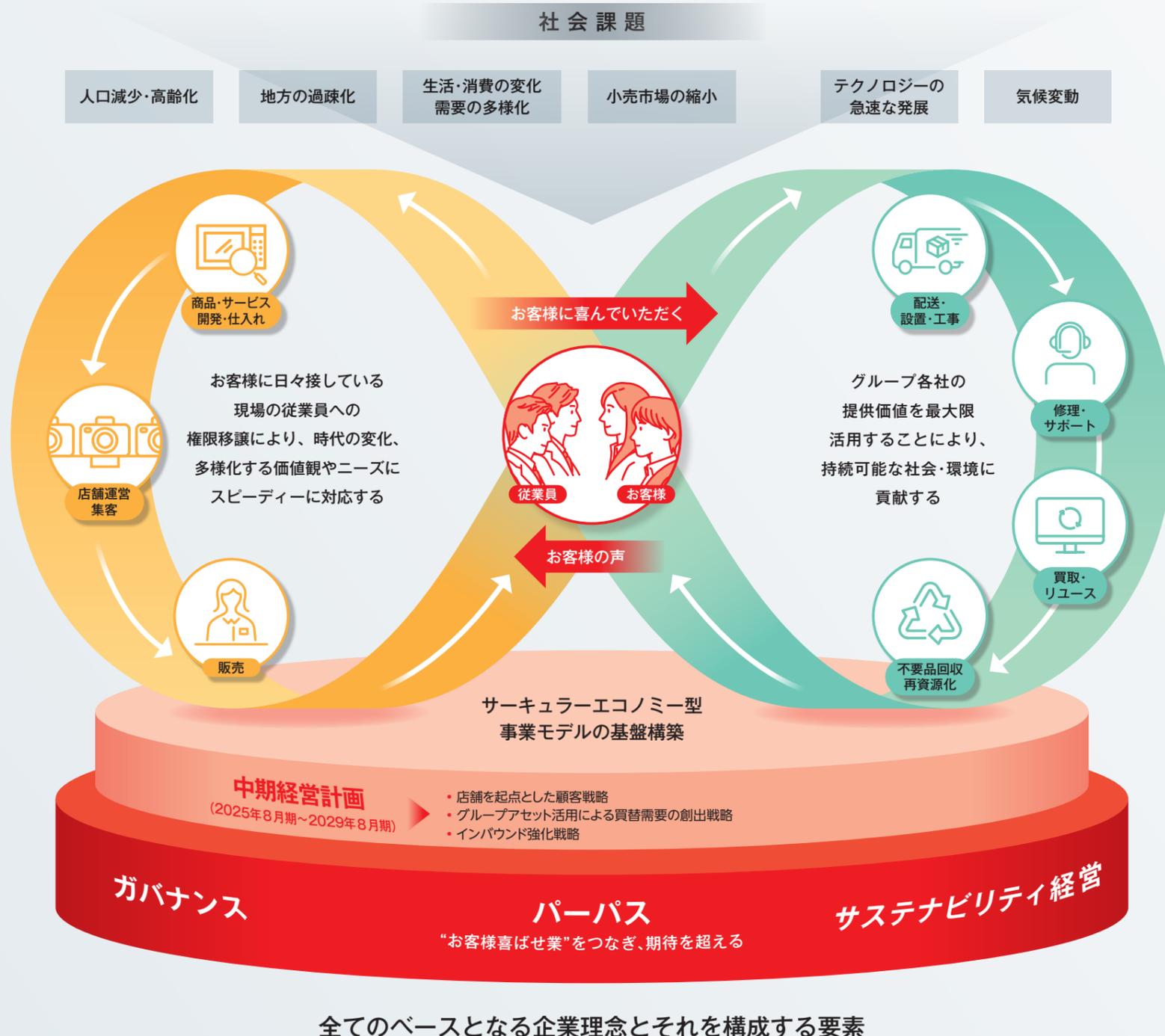
社会関係資本
お客様・取引先

知的資本
目利き力・商品企画力

財務資本
純資産 **193,179百万円**

設備資本
店舗(グループ計) **270店舗**
物流センター **9カ所**
EC化率 **12.9%**

自然資本
資源回収ネットワーク



財務

売上高 **922,572百万円**

営業利益 **24,388百万円**

経常利益 **26,674百万円**

親会社株主に帰属する当期純利益 **13,908百万円**

ROE **9.6%**

非財務

人を成長の原動力とする人財戦略

健康経営の推進

省エネ家電製品・サービスの普及促進

温室効果ガス排出量削減

信頼とワクワク感のある店舗の確立

従業員

従業員のエンゲージメント向上に努めると共に、自ら専門性を高め、キャリアを選択する機会を提供し、かつ自ら学ぶ意志のある従業員の成長をサポートします。

お客様

お客様に喜んでいただけるよう、さらなるサービスレベルの向上に努めています。

お取引先

メーカーをはじめとするお取引先の皆様と健全かつ公正な取引を守り、共存共栄を目指しています。

株主・投資家

株主・投資家の皆様からの信頼と期待に応えられるよう、持続的成長を続け、企業価値向上を目指しています。

社会

店舗を通じて地域社会と深く関わっており、地域社会と共に発展することでその役割を果たしています。

政府・行政機関

政府・行政機関と適切な関係を保持して、企業行動憲章に準じて対応しています。

目指す姿

お客様の生活・消費行動の変化に対応し、進化し続ける『生活適合業態』